

Tacaof

品名 aカート レフィノZ

品番 WCC11

取扱説明書

この製品は買い物などの際、荷物を入れて運ぶためのものです。手すりにつかまらなければ歩行できない方、介助者がいなければ歩行できない方の使用には適しません。シルバーカー、歩行車の用途には使用しないでください。

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をかみならずお読みください。また、読まれたあとは大切に保管してください。製品に関して不明な点や不都合なことがございましたら、ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。



目次

ご使用前の注意	1 P
ご使用上の注意	2~4 P
お手入れ方法	4 P
保管方法	4 P
各部の名称と製品仕様	5 P
走行方法	6 P
駐車ブレーキの使用方法	7 P
ハンドル高さの調節方法	8 P
バッグの取り付け方	
・取りはずし方	9~10 P

株式会社 幸和製作所

〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町3丁159番地1
TEL:072-238-0459
<https://kowa-seisakusho.co.jp/>

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

転倒や事故防止のため、下記の事項をかならず守ってください。

ご使用前の注意

以下の方はご使用にならないでください。

! **警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 杖なしでは歩行できない方。（手すりにつかまらなければ歩行できない方や、介助者がいなければ歩行できない方。）
- リハビリ中などのように、体重の一部を支えないと歩行できない方。

! **注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 高さ調節およびバッグの取り付けをするときは周囲に人がいないことを確認してください。
- 高さ調節およびバッグの取り付けは確実に行ってください。また指などをはさまないように注意してください。
- 使用前に各部を点検してください。
- 各部の留め金具（カシメ・鉋・ネジ・ナットなど）がゆるんでいないことを確認してください。
- 横押しハンドルが固定されていることを確認してください。固定されていないと、使用中に高さが変わることがあり危険です。
- 駐車ブレーキの使用時に後側タイヤが確実に固定されることを確認してください。
- タイヤに磨耗が無いことを確認し、必要に応じて交換などをしてください。交換する場合はご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。

ご使用上の注意



警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- この製品には適切な引き方、押し方があります。誤った方法で使用すると転倒するおそれがあります。
- 駐車ブレーキをかけた状態で歩行しないでください。
- 横押しハンドルや引きハンドル、ブレーキバーに荷物を吊りさげないでください。
- 走って使用しないでください。転倒や事故につながるおそれがあります。
- 車体からはなれるときはかならず駐車ブレーキをかけてください。また、非常口・消火器・消火栓の前に放置しないでください。
- 駐車ブレーキは本製品の動きを止めるための補助的な機能です。電車やバス、斜面など不安定な場所では、動いたり倒れたりする場合があります。手を添えるなど、動かないよう取り扱いに注意してください。
- 踏切などの溝を越えるときは、車輪がはまらないように十分に注意して操作してください。
- ハンドルに体重をかけると、転倒などのおそれがあります。ハンドルに寄りかからないでください。



注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 不整地での使用、段差や溝、踏切横断時では車輪がはまってしまい転倒するおそれがありますので注意してください。手前でかならず一旦止まり、十分注意して慎重に越えてください。
- 段差のあるところで荷物を入れたまま引くと、車輪、フレームなどが破損することがありますので十分注意してください。
- 階段で本体を引きおろさないでください。

ご使用上の注意

! **注意** 誤った使い方をする、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 荷物を入れたまま高い所から落下させると、車輪・フレームなどが破損することがありますので十分注意してください。
- バッグ内に8kg以上の重さの荷物を入れて使用しないでください。
- 重い荷物はバッグの下部に収納してください。
- 片寄って物を入れるとバランスが悪くなり、転倒するおそれがあります。
- エスカレータで移動するときは、製品が落下しないよう置く場所に注意してハンドルをしっかり握ってください。
- 雨や風が強いときは、使用しないでください。
- シルバーカー・イス・踏み台・人を乗せるなどの用途には使用しないでください。
- 分解・修理は弊社サービス員以外、行わないでください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- ハンドルを収納するときは、手をはさまないように注意してください。
- 勢いよく横押しハンドルおよび引きハンドル部分に負荷をかけないでください。過度な荷重がかかり変形、破損することがあります。
- ブレーキバーに負荷をかけないでください。また、ブレーキリンクを無理に動かさないでください。破損することがあります。
- 左右のハンドル高さが同じであることを確認ください。
- 引きハンドルを可動範囲以上に動かさないでください。
- 引きハンドルのみで、本体を持ちあげないでください。
- 路面の状態によっては、転倒のおそれがあります。十分に注意してください。
- 立ち座りの際、手すり代わりに使用しないでください。
- 飛行機搭乗時の預け入れ荷物にはできません。また、飛行機内への持ち込みは、航空会社の指示に従ってください。

引きハンドル
可動範囲



ご使用上の注意



注意

誤った使い方をする、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- ナイフ等鋭利なものの中に入れてください。
- 衣服や収納物にバッグの色移りが発生する場合があります。十分に注意してください。
- バッグは水、汗、摩擦などにより多少の色落ちがあります。
- バッグは長時間光に当たると変色、退色することがあります。
- ファスナーやポケットなどを、強引に引っ張ったり持ちあげたりしないでください。破損の原因になります。
- 直接日光の当たる場所や高温下で長時間使用しないでください。

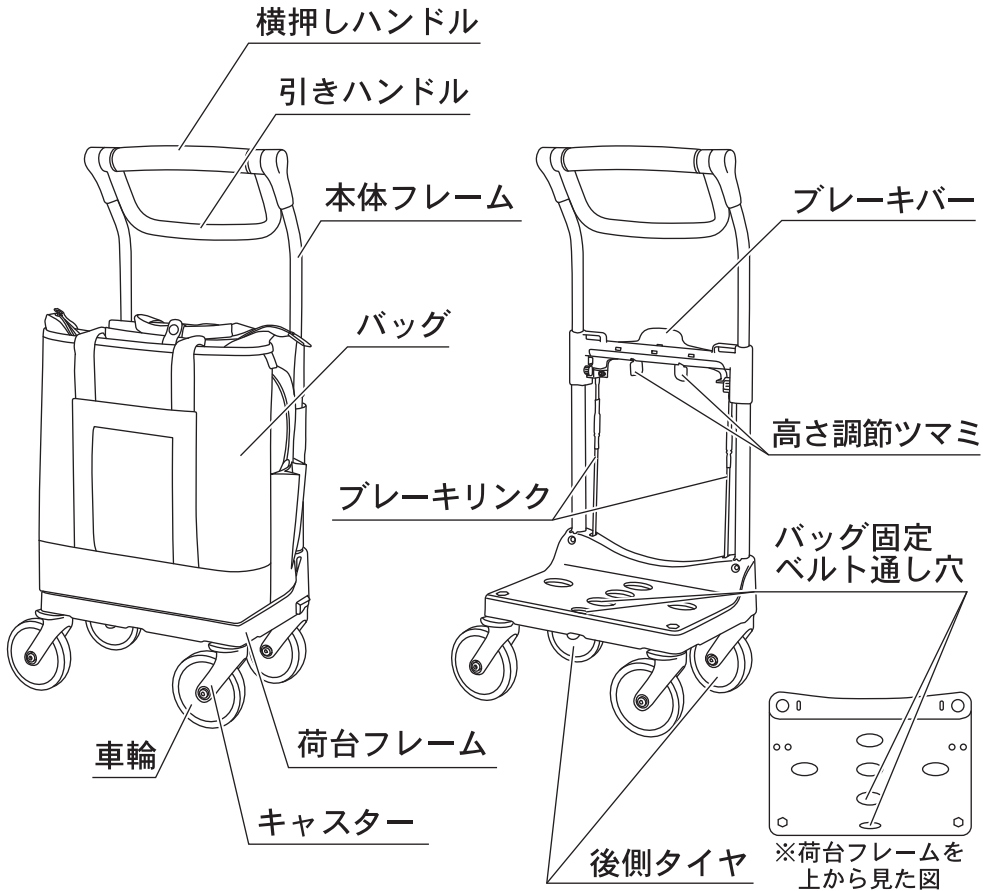
お手入れ方法

- 本体フレームが、雨などで濡れたときは乾いた布で拭き取ってください。泥やほこりがついたときは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。
- バッグが、雨などで濡れたときは乾いた柔らかい布で軽くおさえるようにして水気を取ってから陰干ししてください。
- バッグの汚れは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後よく乾かしてください。
- 塩素系洗剤・シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックの劣化や破損をまねくことがあります。

保管方法

- 屋内で保管してください。また、長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。
- 雨ざらしになる場所、また高温多湿な場所では保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- ビニール袋、革製品などと密着させたまま保管しないでください。他の素材に色移りする可能性があります。
- 駐車ブレーキをかけたまま長時間保管しないでください。

各部の名称と製品仕様



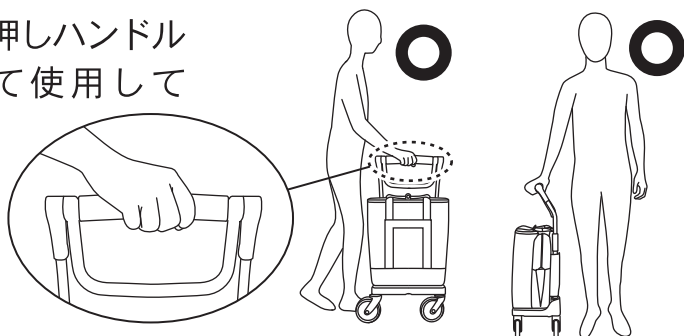
【製品仕様】

組み立て寸法	幅320×奥行225×高さ710～895 mm		
ハンドル高さ	高さ710～895 mm (5ポジション)		
製品重量	2.7 kg		
本体材質	アルミニウム合金	バッグ材質	ナイロン
バッグ寸法	幅310×奥行180×高さ360 mm		
車輪材質	EVA樹脂		
最大積載荷重	8 kg		

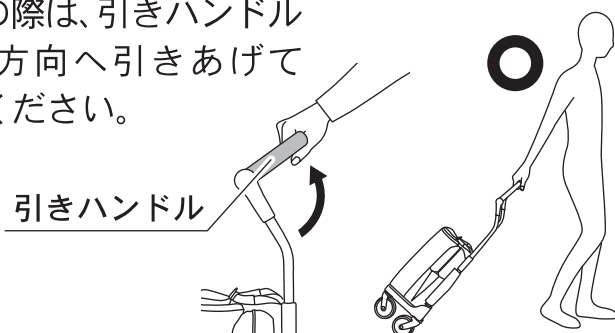
※各寸法・重量は参考数値です。

走行方法

4輪走行の際は、横押しハンドル中心付近を持って使用してください。

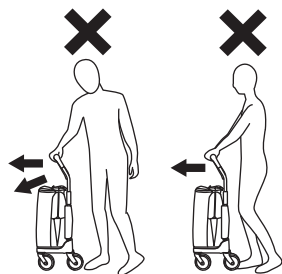
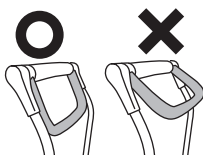


2輪走行の際は、引きハンドルを矢印の方向へ引きあげて使用してください。



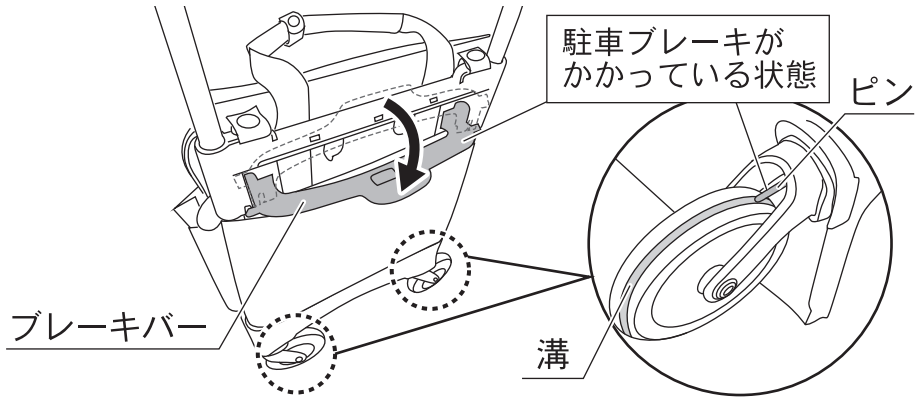
⚠️ 注意

- ハンドルに体重をかけると転倒などのおそれがあります。ハンドルに寄りかからないでください。
- 横押しハンドルや引きハンドルに荷物を吊りさげないでください。
- 引きハンドルのみで、本体を持ちあげないでください。
- 指などはさまないように注意してください。
- 横押しハンドルを使用する場合は、引きハンドルが完全におりていることを確認してください。
- 横押しハンドルを使用する際は、かならず車体を体の横で持ち、進行方向に向かって操作してください。

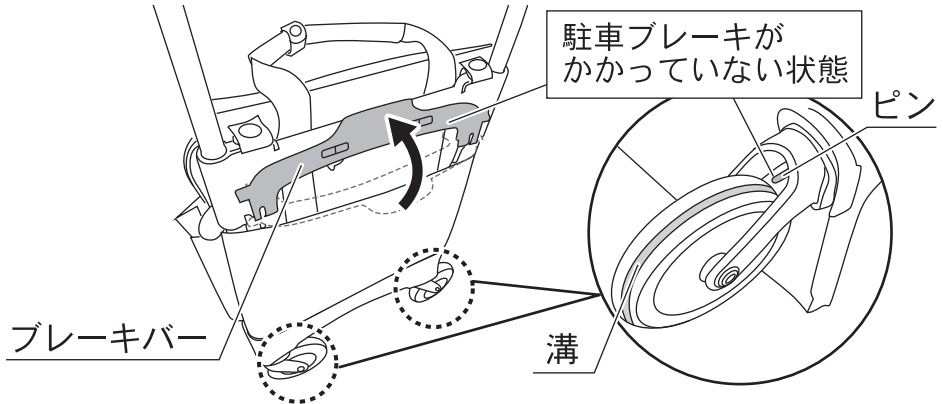


駐車ブレーキの使用方法

ブレーキバーをおろすと駐車ブレーキがかかります。



ブレーキバーをあげると駐車ブレーキが解除されます。



⚠️ 注意

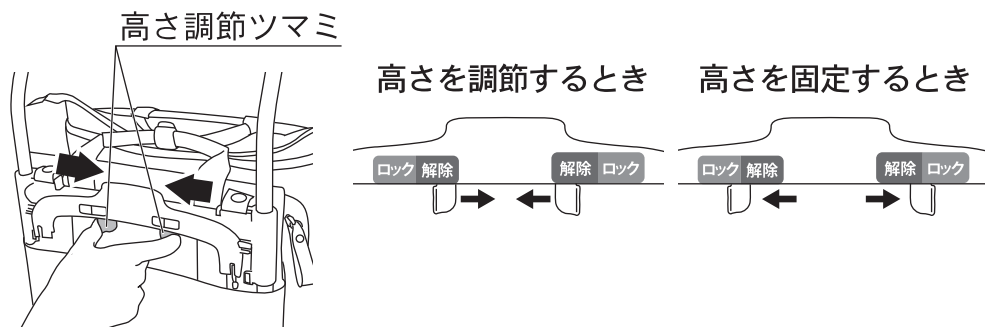
- 車体からはなれるときはかならず駐車ブレーキをかけ、後側タイヤが固定されていることを確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- 後側タイヤの溝が見えなくなるとタイヤの交換時期です。交換する場合はご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。



ハンドル高さの調節方法

高さ調節つまみを内側に寄せながらハンドルを上下させ、お好みの高さでつまみをはなしてください。

つまみが外側に開いて左右の本体フレームが固定されたことを確認してください。



⚠️ 注意

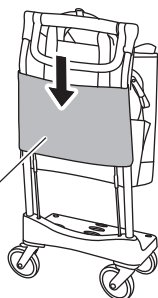
- ハンドルをさげるときは、体重をかけないでください。バランスをくずし、転倒するおそれがあります。
- ハンドルが確実に固定されていることを確認してから使用してください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- ハンドルを収納するとき、手をはさまないように注意してください。
- 本体フレームの左右の高さが同じ位置であることをかならず確認してください。
- 使用するとき、高さ調節つまみがロックの位置になっていることを確認してください。
- 勢いよくハンドルを引きあげたり、引っ張らないでください。
- ハンドル高さは【製品仕様】の範囲内で使用してください。

バッグの取り付け方・取りはずし方

【取り付け方】

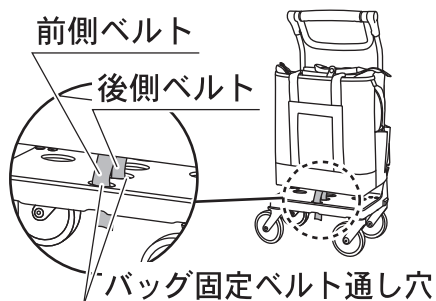
1

フレーム
取り付けカバー



バッグ後方のフレーム取り付けカバーにハンドルを通してください。

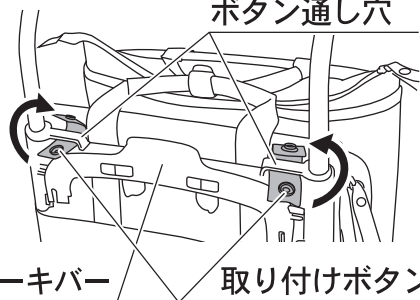
2



バッグ下部にある前側ベルトと後側ベルトをバッグ固定ベルト通し穴にさし込んでください。

3

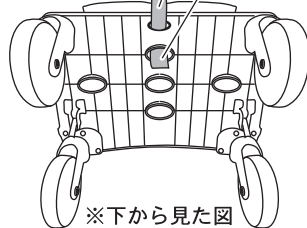
バッグ取り付け
ボタン通し穴



バッグ背面にある左右の取り付けボタンの凹をバッグ取り付けボタン通し穴に通し、ボタンをはめてください。

4

前側ベルト
後側ベルト



荷台フレーム裏側にあるバッグの前側ベルトと後側ベルトの面ファスナーをゆるみがないように取り付けてください。

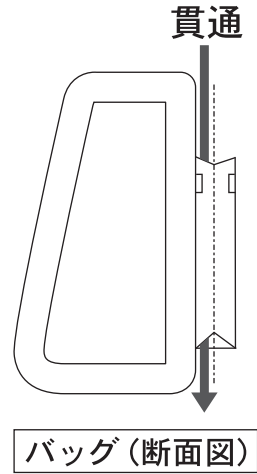
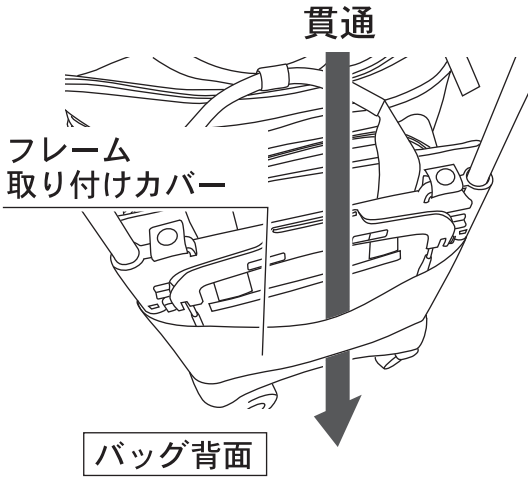
【取りはずし方】バッグを取りはずす際は、取り付け方と逆の手順で取りはずしてください。

▲注意

- バッグを取り付けた際は、バッグが確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。
- バッグを取り付け後、ブレーキ操作ができること、ブレーキバーにバッグがはさまっていないことを確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。

！ 注意

- フレーム取り付けカバーに荷物を入れないでください。
フレーム取り付けカバーは上下に貫通しているので荷物が落ちます。



ココロ、ヨロコブ、テイコブ

Tacaof

製品の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる危険があります。

※本製品をほかの方にお譲りになるときは、かならず本書もあわせてお渡しください。